

- ハローワークでは、お仕事探しをされている求職者の方への就職支援、人材を確保したい地域の企業の求人充足支援などを中心に様々なサービスを展開しています。
- また、各ハローワークでは、管内の特徴を踏まえ、それぞれの課題に応じた取組を実施します。
- 平成29年度の各HWの主要指標の目標は以下のとおりです。

## 1. 主要3指標について

	①就職件数 (常用)			②充足件数 (常用、受理地ベース)			③雇用保険受給者の 早期再就職件数 (※)		
	【29年度目標】	【累計】	【進捗率】	【29年度目標】	【累計】	【進捗率】	【29年度目標】	【累計】	【進捗率】
宮崎	8,492件	件	%	8,812件	件	%	2,323件	件	%
延岡	3,395件	件	%	2,980件	件	%	727件	件	%
日向	2,436件	件	%	2,264件	件	%	536件	件	%
都城	4,877件	件	%	4,541件	件	%	1,408件	件	%
日南	1,548件	件	%	1,385件	件	%	429件	件	%
高鍋	2,399件	件	%	2,011件	件	%	593件	件	%
小林	1,853件	件	%	1,707件	件	%	484件	件	%
【宮崎労働局計】	25,000件	件	%	23,700件	件	%	6,500件	件	%

※雇用保険受給者の早期再就職件数は、基本手当の支給残日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職した件数です。なお、当該実績については1月遅れての公表となります。

## 2. 各ハローワークの課題別の重点指標について

※各ハローワーク管内の課題に応じて、ハローワークごとに目標を設定しています。

※指標の設定数はハローワークの規模により異なります。

## ハローワーク宮崎

重点指標	29年度目標	累計	進捗率
①生活保護受給者等の就職件数	245件	件	%
②障害者の就職件数	419件	件	%
③学卒ジョブサポーター支援による正社員就職件数	1,690件	件	%
④マザーズハローワーク事業における担当者性による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	89.4%	%	—
⑤正社員求人数	18,819件	件	%
⑥正社員就職件数	4,004件	件	%
⑦介護・看護・保育分野の就職件数	1,873件	件	%

## ハローワーク延岡

重点指標	29年度目標	累計	進捗率
①生活保護受給者等の就職件数	220件	件	%
②マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	89.4%	%	—
③正社員求人数	4,933件	件	%
④正社員就職件数	1,577件	件	%

### ハローワーク日南

重点指標	29年度目標	累計	進捗率
①公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数(※1)	135件	件	%
②正社員求人数	3,090件	件	%
③正社員就職件数	1,033件	件	%

### ハローワーク都城

重点指標	29年度目標	累計	進捗率
①生活保護受給者等の就職件数	220件	件	%
②マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	89.4%	%	—
③正社員求人数	9,796件	件	%
④正社員就職件数	2,575件	件	%
⑤介護・看護・保育分野の就職件数	985件	件	%

### ハローワーク日南

重点指標	29年度目標	累計	進捗率
①生活保護受給者等の就職件数	45件	件	%
②正社員求人数	2,391件	件	%
③正社員就職件数	710件	件	%

### ハローワーク高鍋

重点指標	29年度目標	累計	進捗率
①ハローワークの職業紹介により正規雇用に関わったフリーター等の件数(※2)	184件	件	%
②正社員求人数	2,995件	件	%
③正社員就職件数	1,026件	件	%

### ハローワーク小林

重点指標	29年度目標	累計	進捗率
①正社員求人数	3,307件	件	%
②正社員就職件数	912件	件	%
③介護・看護・保育分野の就職件数	389件	件	%

※1「公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数」の実績については、6月遅れての公表となります。

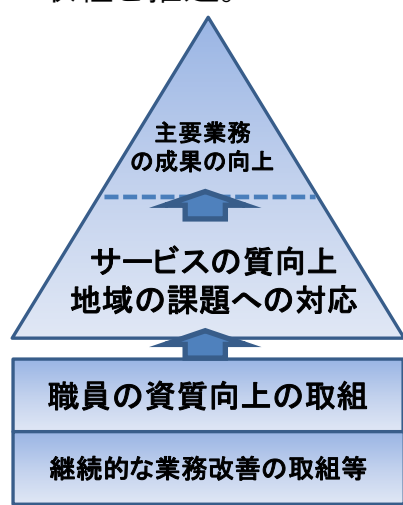
※2「ハローワークの職業紹介により正規雇用に関わったフリーター等の件数」の実績については、1月遅れての公表となります。

# ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

- ハローワークの機能強化を図るため、平成27年度から「ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」がスタートしました。
- 地域の雇用の課題を踏まえた成果目標を掲げるとともに、主要指標等については、毎月実績を公表します。また、年度終了後には、当該年度の取組の総合的な評価をハローワークごとにまとめ、公表します。
- 労働市場の状況や業務量が同程度の全国のハローワークをグループ分けし、その中で比較・評価を行い、その後の業務改善に活かします。


## PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- ・ 現行の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を追加。
- ・ 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- ・ 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく中長期的な業務の質向上・業務改善を図り就職支援を強化

## ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- ・ 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表  
→ 主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度中に、総合評価を年度終了後に公表
- ・ 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。  
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ・ ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。  


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- ・ 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

## 評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- ・ 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
  - ① 評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
  - ② 改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）
  - ③ 好事例は全国展開（評価期間終了後）  
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催